

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	戦没者追悼事業(日生)		コード	担当課係	市民福祉課福祉係
			02-01-03-02	担当者	藤原弘章
事業実施期間	平成17年～		電話	72-1104	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	障害者(児)福祉			
	施策	交流の推進と組織づくり			

事業について	
目的	戦没者及び遺族に対し慰霊、非戦の意を表すため戦没者追悼式を行う
対象 (誰のために)	備前市日生町内の戦没者遺族のため
内容	戦没者追悼式の実施

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
遺族参加者数	120 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	688	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,788	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,476	一般財源等	2,476	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.19	人		人
結果指標名	遺族参加者数			
結果指標量	120			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	2,476,000	円		円
単当たりコスト①	20,633	円		円

結果指標名	遺族参加者数			
結果指標量	120			
単位	人			
対前年比	—			
事業費		円		円
単当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	追悼式遺族参加率	式又は説明	遺族参加者数/遺族数(306人)
成果指標量	17年度 39.2%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	現状の維持	到達目標年度	平成18年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	戦没者の遺族等を対象にした事業であり、内容等についても妥当である
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
効率性の評価	手段の最適化	実施について備前地区、日生地区、吉永地区のそれぞれで分割開催されており、将来式典の統一開催による効率化が必要
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	この事業は、戦没者遺族の心の支えとして所期の目的を達成している
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分
	戦没者追悼式については、備前地区、日生地区、吉永地区でそれぞれ行われているものの統合を含め、内容の見直しをすることにより、コストの削減を図る必要がある	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	120	結果指標量②
目標値	成果指標量	39.2%

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	効率性	市内式典の統一	平成20年度	コストの削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。